

三心を磨く

学校だより NO. 5

平成29年 6月1日(木)発行
須坂市立東中学校

文責：金井 勝久(教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

第1回 「学校運営委員会」が行われました！

長野県では、これまで築きあげたきた「学校と地域が連携して子どもを育てる取り組み」を土台にして、新たに地域住民が「学校運営参画」「学校支援」「学校評価」を一体的・持続的に実施していく取り組みを「信州型コミュニティスクール(信州型CS)」として、平成29年度からすべての学校において実施することとなりました。そこで東中学校でも、これまで行われてきた「学校を支援する取り組み」を土台として、「学校」と「地域に住む皆さん」や「各種ボランティア」の皆さんが話し合う場、「学校運営委員会(東中学校運営委員会)」を設立いたしました。今回は、5月29日(月)に行われました、第1回の協議内容をご紹介します。

【ボランティア活動にかかわって】

- ・土曜日(5/27)に、コスモス街道の作業を見た。道路に20~30台の自動車あった。例年より参加者が多い感じがした。あの姿こそまさしく「PTA作業のボランティア」であった。PTAが積極的に協力してくださっている姿がみられている。
- ・ボランティアには地域性があり、その地域ならではの組織もある。それらの組織を上手に利用していくことがボランティアを増やしていくことにつながる。
- ・先日、仁礼小の会議に出席した。今年度から東中のようにボランティア募集を大々的に行うとのことが話されていた。先行して取り組んでいる東中の学習ボランティアもあるので、ボランティアの獲得は難しいと考える。これ以上のボランティアが地域から集まるのか。
- ・今年度より、須坂市全地域でも東中に似たようなボランティア募集やボランティアの活動が行われている。これにより、ますますボランティアの確保は難しくなるはず。市教委はそこをどう考えているか。



○東中学校では、東地域に限らずに広くボランティアに来ていただきたいと考えております。しかし、パンフレット・チラシについては、他地域との関係もありますので「学区内のみ」にしております。ボランティアを増やすことは、すぐには難しいことではありますが、1人増え・2人増えなどのように、ボランティアさんが友だちを誘って増やすなどのように地道に増やしていきたいと考えております。

【「いじめ問題」について】

- ・「いじめ」について、やはり大切に考え抜いていきたい。問題が起きてからでは遅い。
- ・東中学で、いじめについて真剣に取り組んでくれていることはわかる。だが、本当に大切なのは小学4・5年生辺りの学習だと思う。そこでの指導が大切。そこで何を指導するのか、どう指導するのか、共有することは何か、小学校と中学校で連携してあたっていくことが大切である。
- ・「いじめ防止等基本方針」について、このテーマの検討や見直しは、校内だけでなく、地域や保護者と共有したいものである。さらに、生徒自身にも考えさせることができれば素晴らしい。
- ・生活していれば、いじめは必ず起きる。そこで、「いじめが起きたらどうするか」について、生徒会と一緒に考えていくスタンスを創っていくことがよいのではないか。

- ・いじめについては、一人で悩まない、一人で悩ませないことが大事である。
- ・生徒たちが、自分たちの力で、仲間たちと一緒にいじめの解決を図っていきたい。学校の責任、地域の責任というだけでなく、「自分たちで考えていく力」も必要である。
- ・いじめは地域で考えることが大切、そして何より家族である。家族が知らない、家族に言えないなどがある。いじめは学校の責任だけでない。家族でしっかりと子どもの様子を見ていくことが大切。

○「いじめの問題」については、本校にとって最も大切に考えている教育活動の一つです。学校と家庭、地域、保護者、そして生徒との協働により、「いじめは絶対に許さない」のもと、小中の連携や年3回のアンケート調査と分析を行ってまいります。また、生徒たち自身の「自分たちで考えていく力」の育成をしてまいります。

【生徒たちの姿、生の声を運営委員会でも】

- ・運営委員会では、学校からの説明はあるが、生徒の声はない。生徒の話もあつたらどうか。高校では、そんな取り組みをしている。生徒たちの考えは柔軟であり、よいアイデアがでてくる。生徒の声が聴ける機会もほしい。
- ・長野の中学校では、中学生がこのような会で話す機会がある。生徒会の役員が自分たちで考えていることを話してくれる。参加者は、それが1つの楽しみでもある。
- ・中学生が特別な舞台（場）で、自分の考えを述べる機会は重要であり、よい学びの場となるはず。そんな委員会を東中学校でもめざしていただきたい。
- ・生徒を見る機会がほしい。運営委員会以外でもかまわないので参観し、生徒が見たい。
- ・東中学校では、ICTを活用した授業を行っているが「学校だより」や「ホームページ」にのっていた。是非我々もどのような授業なのか見てみたい。

○授業時間と委員会の時間の関係もありますが、生徒たちの考えを語る場として、地域の大人に聴いてもらえる機会としてとらえ、次回より取り組んでまいりたいと思います。また、授業については、日常より授業公開をしておりますので、生徒たちの姿をご覧くださいと思います。



【その他の話し合いの様子から】

- ・長野マラソンのボランティアでは、中高生の活躍が目立っている。よく働き、生き生きとしている。よそのおじさん・お婆さんの言うことはよく聞ける中高生である。この頃の子どもたちは、身内よりも、知らない他人の前の方が素直になれるのではないかと。そんなアプローチも大切かと思う。
- ・学校長が生徒たちのために自らプリントを配布し、採点をしている。この姿を委員会でも共有したい。こうした取り組みによって、着実に学校がかかわってきていること、生徒たちがよくなっていること、そこを共有したい。この委員会の中で、そんな学校長の考えを伝える場も設定していきたい。

また、今求められている思考力・判断力・表現力をどのように育成しようとしているのか、生徒の姿や授業の具体でみてみたいと思う。

○本年度は、21世紀型能力を育む「学び合う学校」づくりを進めております。授業の中でICTを活用し、協同的な学びによって、生徒主体の授業を実現し、生徒たちの思考力・判断力・表現力などの伸長をめざしております。

※学校運営委員の皆様は、様々な立場、そして角度から活発にお話をしてくださいました。特にうれしかったことは、生徒たちの頑張る姿、PTA活動やボランティアの皆様のご活動などをしっかりと見られ、評価いただけたことです。ご意見を参考にさらに東中学校の進化をめざします。